

2010 年（平成 22 年）4 月 14 日
株式会社アキュラホーム

アキュラホーム 2009 年度業績の概況について 売上高 16 期連続増収、過去最高益を更新！

株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区、社長：宮沢俊哉）の 2009 年度（2010 年 2 月期）の業績は増収増益となりました。売上高は 30,928 百万円（前期比 11.1%増）と 94 年度以来、16 期連続で増収となるとともに、営業利益は 1,016 百万円（前期比 2264.9%増）、経常利益は 1,154 百万円（前期比 849.6%増）、当期純利益は 654 百万円（前期比 872.7%増）と大幅増益となり、いずれも過去最高益を更新しました。

我が国経済は、世界的な在庫調整の進展や、各国経済対策の効果を背景に、外需を中心に景気を持ち直しているものの、円高やデフレによる企業収益は減少傾向が続くなど依然として厳しいまま推移しております。

住宅市場においては、住宅税制改正、太陽光発電などに対する補助金制度など、住宅に関する各種施策が実施されるも、極めて厳しい雇用情勢を背景に、所得環境の悪化から一層の節約志向が強まり低迷を続け、新設住宅着工戸数が 80 万戸を割り込むまでに低下しています。

この中で、当社では“日本の住まいを安くする”というミッションのもと、住宅品質を向上させながらもコストダウンや業務効率化に一層注力し、当社の注文住宅「OPTIS（オプティス）」では、自由設計で、国の認定要件を高水準でクリアした優れた基本性能を持つ長期優良住宅を昨年 9 月より全棟標準仕様とし、1,000 万円台からというお求めやすい価格帯で提供してまいりました。

また昨年 4 月からは、創業 30 周年を記念して家づくりの原点に戻り、家づくりのムダを排除することで、本体価格 550 万円（税込み）の企画型住宅「新すまい 55」を販売。マイホームを考える全ての方々に、家づくり予算に無理がなく、建ててからの“ライフリッチ”を楽しむことができる新しい時代の家づくりを提案し大きな話題となりました。

これにより、展示場の来場者数は前期比で 24%増と大幅に伸び、当社が出展している総合展示場の中でもトップクラスの集客力を誇るまでになり、受注棟数は 1,648 棟（前期比 5.0%増）、完工棟数は 1,367 棟（前期比 18.6%増）となりました。この結果、住宅建築事業部門の売上高は、29,665 百万円（前期比 12.3%増）となりました。さらに、2007 年度・2008 年度における新規営業拠点（展示場）の開設や、それに伴う積極的な人材採用などの先行投資の効果が現れたことや、営業や施工の効率化などにより収益力が向上し、過去最高益に寄与しました。

全国の工務店を支援するビルダー開発事業部門の売上高は 1,263 百万円（前期比 10.9%減）となりました。同事業については、厳しい外部環境の中、敢えて規模拡大を図るのではなく、会員の質的向上および連携強化に向けた新しい取り組みを推進し、昨年 6 月には、「長期優良住宅推進プロジェクト」を発足させ、長期優良住宅の技術ノウハウの提供や認定に必要な申請図書の作成支援など、全面的にバックアップをしてまいりました。この結果、今年 2 月まで、本プロジェクト参加 171 社全体で、234 棟の長期優良住宅普及促進事業の申請が受理され、国内の全受理棟数の 5.3%を占め（全国の 20 棟に 1 棟がジャープネットの会員工務店による申請となる）、グループエントリーとして全国でトップクラスの実績を残すことができました。

また昨年 8 月には、全国 13 社の優良会員有志からなる「リーディングプロジェクト」を発足させ、長期優良住宅先導的モデルをベースに、当社による先導と支援の強化を通じ、エクセレントカンパニーを目指し、ジャープネット全会員が激動の中で勝ち残り、真のエクセレントカンパニーになれるよう導いていくことを目的に活動に取り組んでいます。

2010 年度については、住まい・暮らしのトータルサービスの提供を目指すための転換期と捉え、事業・サービスの拡充を図ってまいります。これにあわせ、組織体制を 3 月 1 日付で変更し、将来に向けた研究（投資）部門『未来創発ディビジョン』と事業部門『事業推進本部』の 2 体制としました。

投資と利益確保それぞれの目的に合わせた経営の意思決定とその運営をおこない、研究部門においては、従来の考えにとらわれず、ビジョンに基づき自由な発想から大胆な研究テーマに挑戦してまいります。また、事業部門においては、コアビジネスである住宅事業の強化を図り、業務精度・効率性を向上させてまいります。

また、ビルダー開発事業については、「リーディングプロジェクト」をさらに強化発展させ、これを通じてジャープネット全体を地域密着で永代にわたり家づくり・家まもりを担う理想の工務店像へと導いてまいります。

これらの取り組みにより、2010 年度のアキュラホームの業績は、完工棟数は約 1,400 棟（前期比 2% 増）、売上高は 316 億円（前期比 2% 増）をそれぞれ見込んでいます。

2009 年度（2010 年 2 月期）の業績（2009 年 3 月 1 日～2010 年 2 月 28 日）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2009 年度	30,928	11.1	1,016	2264.9	1,154	849.6	654	872.7
2008 年度	27,833	21.5	42	△35.8	121	3.5	67	△32.2

（%表示は対前期増減率、記載金額は百万円未満切捨て表示）

部門別売上高

	住宅建築 事業部門		ビルダー開発 事業部門	
	百万円	%	百万円	%
2009 年度	29,665	12.3	1,263	△10.9
2008 年度	26,415	24.7	1,418	△17.3

（%表示は対前期増減率、記載金額は百万円未満切捨て表示）

受注・完工棟数

	受注棟数		完工棟数	
	棟	%	棟	%
2009 年度	1,648	5.0	1,367	18.6
2008 年度	1,569	39.2	1,153	19.7

（%表示は対前期増減率）

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社アキュラホーム 広報課 山本・堀越 TEL:03-6302-5010

住所：東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F